

檜山橋

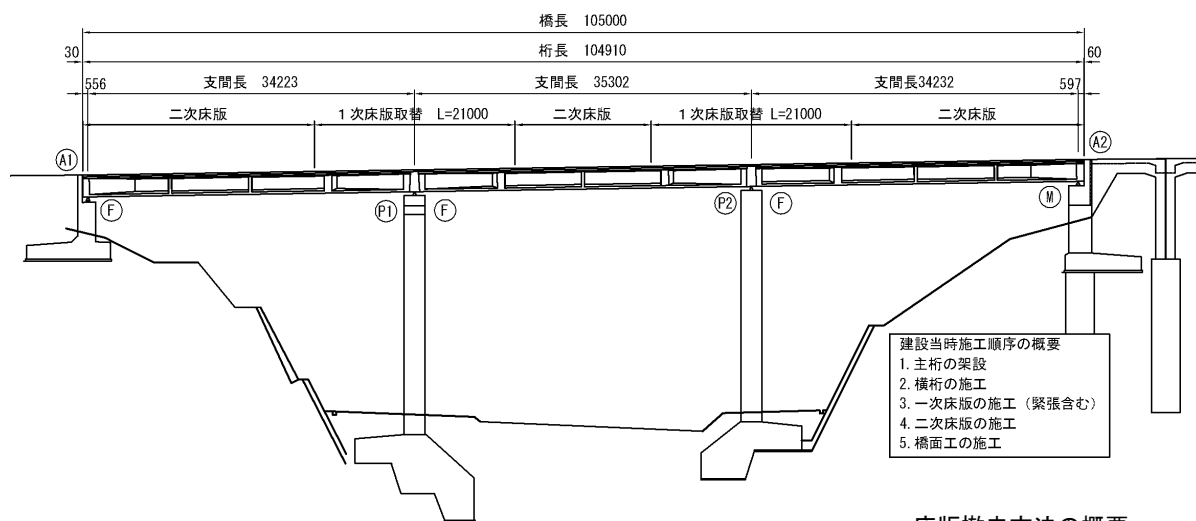
PC連続合成桁の床版更新工事



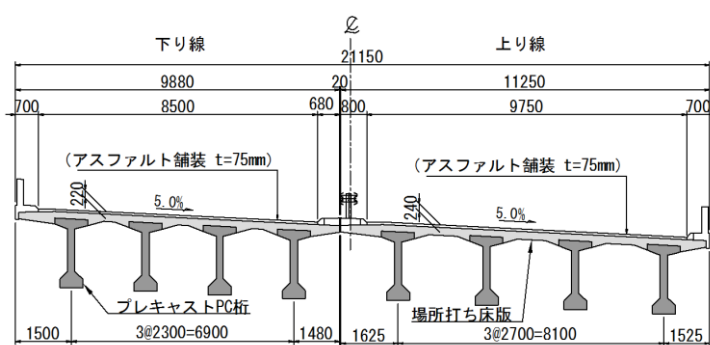
施主	東日本高速道路株式会社
施工場所	岩手県二戸郡一戸町
完成年	1986年供用開始 2018年(床版更新工事)
橋長	105m
形式	PC3径間連続合成桁橋
全幅	11.25m(上り線) 9.88m(下り線)
最大支間	35.3m
参考文献	橋梁と基礎 2019年 9月

八戸自動車道に位置する檜山橋は、1986年から供用され約32年経過したPC3径間連続合成桁である。近年の調査により、一次床版部にポットホールやASRIによるひび割れ等の変状が確認されており、さらに各種試験結果ではコンクリートの物性低下が確認されたため、一次床版の更新と主とした補修・補強工事が計画された。桁端の劣化部分においてはNSRV工法(Vertical girder end Repair method st Narrow Space)により修繕がなされた。対象IC間の通行止めは行わず、対面交通規制により交通を確保しながら、比較的交通量の少ない各3ヵ月間で取り組んだ。

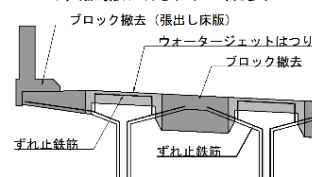
側面図



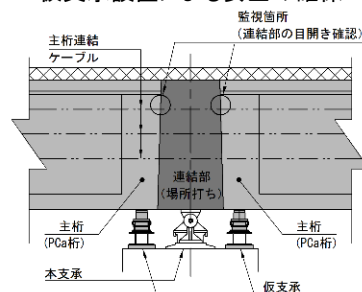
断面図



床版撤去方法の概要



仮支承設置による安全の確保



NSRV工法による桁端部の修繕



床版コンクリートの撤去



更新部分の鉄筋組立



更新工事の様子



工事完了(下面)



工事完了(側面)